

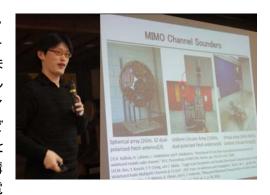
アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.147/2019 年 4 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第147号をお届けします.

【1】3月一種研開催報告

3/14(木)・15(金)に恒例の3月福島シリーズとして飯坂温泉・ 湯乃家で開催され、チュートリアル講演1件、特別講演1件、一 般講演8件、科学者の卵セッション3件の計13件の発表がありま した. チュートリアル講演では、東工大・齋藤健太郎先生に「アレ ー信号処理によるMIMOチャネル伝搬パラメータ推定」というタイ トルでご講演いただきました. 電波伝搬のパラメータ推定もどんど ん進歩しており、そのうち簡単に可視化される時代が来るものと 思います. 続く, IEEE AP-S Tokyo Chapter/URSI-F 特別講 演では、新潟大・山口芳雄先生に「偏波レーダデータの散乱電



カ分解」というタイトルでご講演いただきました. データのカラー化は強度をヒートマップにする程度で用いますが. 山口先生はより進んだカラー化でのプレゼンであり驚愕しました. 色に物理的意味を載せて視覚的にデータを 解析するということをとても分かりやすく示してもらいました。自分の分野でも応用できるといいなぁと思います。両 先生, ありがとうございました.

最後のセッションは、AP研初の「科学者の卵」セッションでした。これは、高大連携の教育プログラムの一環 で, 高校生が大学で科学的アプローチを実習するというものです. 今回は, 福島開催ということもあり東北大で 本プログラムに参加された高校生3名の発表となりました. 無線電力伝送の実証実験をレポートいただきました. このセッションでは私が座長を務めましたが、丁度、同日に娘も横浜で同様のプログラムでの発表をしていたこと もあり,父親の気持ちでの進行となりました.難しい質問禁止,ということで質疑に入りましたが,難しくない質 問をすることがこんなに難しいのかと実感しました. 日頃, きつめの質問が多いAP研の方々ですが, 易しい質問 はどうやら苦手のようですね. 3名の高校生はよく練習していてプレゼンはとても上手でした. 是非,大学でも理 系・科学方面への進学されることを願っております. 発表された浅野早希さん, 菊田優奈さん, 盛田楓果さん, 大変よくできました. パチパチパチっ!!

【2】AMT研開催報告

今回は,一種研と併催し同一会場で3/14(木)AMに開催され4件の発表がありました. いつものように,濃 い議論が展開されました. 議論する二種研はいいですね.

【3】AMT研開催地変更のお知らせ【利尻→稚内】

初夏の北海道はハイシーズンのようで,宿の確保が困難であることが判明し,赤組・利尻から青組・稚内に 変更となりました. 一喜一憂された方もいらっしゃると思います. 長崎市内の全ホテル満室を思い出しました.

【4】WS-64開催報告

怒涛のWSシリーズのトリは、横国大・新井宏之先生の登場 です. 実に3回目の講師となります. 総合大会の前日3/18(月) に同志社大東京サテライトキャンパスで開催されました. テーマ は、「キャラクタリスティクスモードの理解と実際」です.今回も社 会人の方の受講が多くベテラン技術者・研究者がさらに深く勉 強したい,という要望に応えていただきました. 聴きごたえのある 充実したWSでしたね. 新井先生, お疲れ様です. 多くのWS は、初学者から中級者を主要な受講対象に設定しています が、時々、上級者向けWSを企画するということも大切かも知れ



ません. また, ハンズアウトのカラー化トライアルも安定的に運用されており, そろそろ定着するかも知れませんね.

【5】総大@早大開催報告

3/19(火)~22(金)に、東京・総大にて早大が開催されました。前回の総大@早大は2002年3月ですので実に17年ぶりの開催です。当時は副都心線もなく、新大久保駅から住宅地を歩いた記憶があります。公園も整備され周辺もだいぶ変わったようです。ちょうど期間中に公園の桜が靖国神社の桜開花に先駆けて満開となっていました。本題ですが、今年は、一般講演A分野・32件、B分野・86件、C分野・47件、シンポジウム講演15件、依頼シンポジウム講演14件(主幹事7件)の計194件の活発な発表・議論が行われました。B分野が寂しいですね。企画ものとしては、電波伝搬モデリングコンペティションでしょう。また、5G Dayとして、5G総務省実証実験の報告が電波伝搬とシステムの両面から報告されていました。いよいよ、5Gも本格化してきました。

【6】IJAWT2019·MJWRT2019開催案内

他研専関連ではアジア連戦はありましたが、AP研としては初のアジア連続開催ツアーとなります。お隣同志といえばそうですが、インドネシア・バンドンからマレーシア・クアラルンプールへの移動となります。なんと、ここは直行便もあります。IJAWT2019は2017年12月にジャカルタ近郊・デポックで開催されて今回が2回目です。バンドンはバンドン会議で有名な都市で、大学が多く存在するか学園都市です。高速鉄道の開通は・・・・、やっぱり駄目でしたね。一方のMJWRT2019は2017年1月以来3回目となります。詳細は、AP研HPで、

- The 2019 Indonesia-Japan Workshop on Antennas and Wireless Technology (IJAWT2019)
- ■2019年7月29日(月)・30日(火)
- ■会場未定(インドネシア・バンドン)
- →移動日 7月31日(水)
- ●The 2019 Malaysia-Japan Workshop on Radio Technology (MJWRT2019)
- ●2019年8月1日(木)・2日(金)
- ●ホテル イスタナ(マレーシア・クアラルンプール)

夏休み期間のど真ん中なので、早めに航空機を抑えた方がよさそうです、ご参加をお待ちしております、

【7】 菊間先生が通ソ次期会長に当選されました

我らが菊間信良先生が、通ソの次期会長に当選されました。おめでとうございます!!!!! 先生は、AP研の幹事・副委員長をはじめ通ソ和文論文誌編集委員長、通ソ副編集長、通ソ副会長・研専運営会議議長を歴任され、編集から研専運営と幅広く学会活動・運営に携わっていただき、我々会員の気持ちに寄り添っていただいております。本部主導の迷施策が多い中、これまでの英知をもとに令和の新しい時代に沿った通ソの方向性を示していただけるものと期待しております。また、本「お知らせ」の元執筆者でもあります。

【8】副委員長の戯言「システム伝播のある風景」

今回の「伝搬のある風景」は、なんといっても電波伝搬モデリングコンペティションです. コンテストではありませんよ、コンペティションです!! きりっ!! 実行委員長はじめ実行委員・電波伝搬研究者の意気込みを感じました. いゃー、こんなに活き活きと議論している姿を目の当たりにして清々しい気持ちになりました. このコンペティションは、いわゆる今回が本番なわけですが、昨年 1 月の一種研でのトライアルを重ね、満を持しての開催となりました. 今回は、研専運営会議活性化資金の補助もあり小倉電測による実験値を使ったモデリングというとても本格的なものでした. 実行委員も全国から終結していたため各地で活発な実行委員会が開催されたと伺っております. 私も、一部参加させていただきました. 写真は、3 月一種研会場の風景です. 「天使情報通信学会」、「P・A 研」に続く新研究会となる「システム伝播研究会」です. 和室に机という独特のスタイルでした. 【Q&A】一種研・AMT 研会場は飯坂温泉でしたが、ここにも昨年3月に続き円偏波アンテナがありました. 旅館の他称高田みづえ様(南海の黒豹の奥様)のお話によると、飯坂温泉は歓楽温泉であり日本銀行券・紙幣モデルの方がよくいらっしゃったとのことです. さて、誰でしょう?①千円札、②五千円札、③壱万円札から三択です.

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 山口 良 (ソフトバンク) E-mail:ap ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)

AP-NET: AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP: http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/



